

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	恵那市	学校名	恵那市立明智中学校			
校長名	伊藤 勝彦	対象学年	全学年	人数	114人	
活動名	大正村掃除に学ぶ会		時間数	6時間	継続年数	10年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他）		[ ]		[ ]	
	2 歴史（出来事・史跡・先人・その他）		[ ]		[ ]	
	3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他）		[ ]		[ ]	
	4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他）		[ ]		[ ]	
	⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動		[大正村掃除に学ぶ会]		[ ]	
	6 その他（ ）		[ ]		[ ]	
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域貢献活動」の一環として、全校生徒で臨むことができる大切な行事であることを、教員側が引き継いでいく。</li> <li>・第1・2学年は掃除への参加、第3学年は会のスタッフ側としての仕事を担うというスタイルを継続させていく。</li> </ul>					

1 ねらい

- (1) 地域の活動に積極的に参画することで、自己有用感を感じることができる。
- (2) 全国に広がる「掃除に学ぶ会」の発祥の地がこの明智町であることを自覚し、明智町の一員であることに誇りをもたせ、より深くふるさとを知り、ふるさとを愛する気持ちを育てる。
- (3) 地域社会人の一員としての自覚をもち、主体的に行動のできる実践力を育てる。

2 活動の概要 <平成28年度は10月22日（土）に開催>

- 「大正村掃除に学ぶ会」実行委員会（毎年6月以来数回に及ぶ）に校長及び教頭が参加し、明智中学校としての参加の仕方について積極的に検討をした。明智中学校はここ数年全校体制で参加をしてきたが、特に今年度は恵那南高等学校の参加の仕方も念頭に置いての検討であった。
- ・ねらいに迫るために、生徒がどのような形で参加することが望ましいのかを徹底的に吟味し、平成27年度より、第1、2学年は一般の参加者と一緒に掃除体験をすることにした。第3学年は掃除に学ぶ会スタッフ側の役割を担い、「おもてなしスタッフ」として参加するようになった。
- ・平成28年度は、恵那南高等学校の生徒も全員参加すること、中高のPTA本部役員が豚汁づくりや配膳スタッフとして参加することが実現した。このように学校、家庭、地域が一体となって取り組む活動としてますます発展する活動となりつつある。

<中学校>

- ・第1、2学年は各グループに1～3人ずつ配属し、明智町のあらゆる施設（学校を含む）のトイレ掃除体験を行う。
- ・第3学年は、開会式、閉会式の司会進行や準備体操の指揮、さらに豚汁配膳係として、掃除に学ぶ会スタッフとしての役割を担う。
- ・PTA本部役員は、各掃除場所の見学及び豚汁配膳スタッフとして参加をする。

<高校>

- ・今年初めての全校参加のため、トイレ、学校周辺のガードレール、明知鉄道車両などの清掃を行った。
- ・PTA本部役員は豚汁調理スタッフとして参加をした。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・「大正村掃除に学ぶ会」は、平成5年に端を発する。20年以上続いてきたこの会に明智中学校が何らかの形で参加し始めて10年が過ぎようとしている。この会の価値を生徒に再確認させ、特に第3学年が「おもてなしスタッフ」として参加し、全国から訪れた参加者に感動と感謝の念を抱かせたことが、生徒たちに明知町の中学生としての自信や誇りを抱かせることに繋がった。